

令和7年9月25日

資料提供



和歌山県高野町



高野町とアッシジとの交流について（ご報告）

高野町とイタリア共和国アッシジ市は、40年前に始まった民間交流を基盤として、平成21年（2009年）10月26日にアッシジ市において「高野町・アッシジ市 日伊世界遺産都市の文化・観光・相互協定」を締結しました。これまで、世界遺産セミナーや高野町PR展などを開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、両都市の交流は一時的に停滞していました。

しかし本年、大阪関西万博イタリア館において、アッシジ市を擁するウンブリア州の記念イベントが9月上旬に開催され、平野高野町長が出席しました。イベントではウンブリア州知事らとセッションが行われ、今後の交流や連携について意見交換を行う機会となりました。

さらに9月5日には、ウンブリア州知事・副知事、ペルージャ県知事、カトリック修道士ら関係者12名が高野町を訪問し、奥の院、金剛峯寺、壇上伽藍などの視察を行いました。

この訪問の中で、ウンブリア州知事から「両都市は多くの共通点を持ち、世界平和を伝える使命がある」との発言があり、2026年には高野町を招待したい旨が表明されました。

高野町としては、アッシジ市およびウンブリア州との交流をさらに深め、世界遺産都市同士の絆を活かした国際的な文化・観光交流の推進を図ってまいります。

【町長コメント】

高野町とアッシジ市は、ともに世界遺産を有し、宗教的・文化的な精神性を大切にしてきた都市です。両都市が手を携えて世界平和の大切さを発信していくことは、私たちに課せられた使命であると考えています。これからも交流を深め、人々の心に平和の灯をともし活動を進めてまいります。